



神戸大学人文学研究科海港研究センター・韓国海洋 大学海洋文化研究所共同プロジェクトによる呉市巡 検調査の概要

樋口, 大祐

(Citation)

海港都市研究, 18:77-78

(Issue Date)

2023-03-27

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCOI)

<https://doi.org/10.24546/0100482805>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100482805>



神戸大学人文学研究科海港研究センター・韓国海洋大学海洋文化研究所共同 プロジェクトによる呉市巡検調査の概要

樋口大祐

日本有数の軍港都市である呉市において、歴史的・文化的観点にもとづく巡検調査を行い、他の軍港都市・海港都市との比較の視野も含みつつ、呉の特色に関する認識の獲得をめざして実施した。

軍港都市「呉」は旧海軍の鎮守府が置かれていた都市であり、隣接する江田島と共に東アジア近現代の戦争の歴史と密接な関係を持っている。文化的にはアニメーション映画や東映実録映画群の印象が強く、映画と現実社会の関係性が注目される。港町には、軍事関係者、アウトロー集団、遊郭、植民地出身者等に関わる暴力的な歴史とともに、その都市空間には、内陸都市にはない開放性や、多様な背景を持つ人々を受け入れる懐の深さがあると思われる。そのような港町が持つ「光と影」の両面の姿について探求することが目的であった。

【神戸大学側参加者】

真下裕之、藤田裕嗣、白鳥義彦、濱田麻矢、平井晶子、樋口大祐

【韓国海洋大学側参加者】

具知瑛（グジヨン） 学術研究教授、社会学（移民、都市コミュニティ関連）

金潤煥（キムヨナン） 学術研究教授、日本植民地期の韓国史

【広島大学側参加者】（6日午後の呉市役所訪問のみ）

迫田久美子 教授 広島大学副理事・森戸国際高等教育学院特任教授

迫田亜希子 広島大学大学院日本語学科修了生 現高麗大学博士課程後期大学院生 通訳補助

【巡検調査の日程】

2023年1月6日（金）～9日（月） コンフォートホテル呉に宿泊

1月6日（金）午後：呉市役所訪問、呉の戦後史の当事者お二人からの聞き取り

1月7日（土）午前：呉市大和ミュージアム参観

同日午後：入船山記念館、呉市立美術館等訪問、呉市内巡検

1月8日（日）午前：広島市宇品の広島市郷土資料館訪問

同日午後：広島市平和資料記念館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館訪問

同日夜：呉市に戻り、ワークショップ。「かき舟」での聞き取り

1月9日（月）午前：解散